

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年1月27日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105057
法人名	株式会社 メディコープ
事業所名	グループホーム おあしす坂之上
所在地	鹿児島県鹿児島市坂之上1丁目47番22号 (電話) 099-284-6636
自己評価作成日	平成30年12月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年1月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員は入居者様と楽しく生活する事を大切にしています。おひとりおひとりに合わせた活動を充実させて、日々の生活の中で共に楽しみながら入居者様と心の通う介護に努めています。敷地内には菜園があり、入居者様と職員で草取りをしたり収穫の喜びを味わうことで、季節の変化を感じて頂いています。ボランティアの方々との協力を得ながら行事や、季節ごとの外出を企画しています。敬老会やクリスマス会にはご家族の方々にも参加を呼びかけ、入居者様とご家族の方々が共に楽しんで頂けるように配慮しています。協力医療機関、訪問看護ステーションとの24時間の連携と協力体制のもと、入居者様の健康管理、救急時の対応をさせて頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・町内会に加入し資源ごみの回収や回覧板・地域行事の夏祭りや清掃活動への参加・餅つきなどにも参加している。地域から野菜の差し入れもあり日常的に交流している。学生の職場体験学習や介護職員実習生の受け入れや地域貢献も行っている。
- ・入居者の健康管理で主治医やホームの看護師・協力医療機関・訪問看護ステーションとの連携が取れており、協力医療機関と24時間医療連携体制が整っている。
- ・外出の機会を増やす目標で、毎月外出を計画している。職員の積極的な取り組みで、利用者も目標を持ち歩行練習をする等、楽しんでいる。
- ・個別の外出支援を実施し、利用者と職員がゆっくりと語らう時間があり、家族や地域とのふれ合いができています。
- ・一人ひとりの個性を活かした支援で、しめ縄作りの上手な利用者もあり、菜園の手入れ等、個々の個性や特技を大切にしながら残存機能を保持、増進している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの理念を簡条書きにし、目に付きやすい場所に掲げ、意識付けしている。職員は意識して地域との関わりを大切にしている。	法人の理念とホームの理念がある。ホールに掲示して、職員会議や職員採用時に話し合い確認して共有し支援につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に加入しており資源回収にも協力したり、年に2回開催している防災訓練へ地域の方々の参加を呼びかけている。	町内会に加入し、回覧板で情報を得たり、地域行事の夏祭りや清掃活動・資源ごみの回収・餅つき等に参加したり、中学生の職場体験学習・介護職員の実習、踊りのボランティアの受け入れを行っている。職員は地域ふれ合い会食で介護の実情を話し、見守り活動をしている。野菜の差し入れもあり日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	中学生の職場体験学習の受け入れや介護職員初任者研修の実習生の受け入れや認知症見守りメイトの実習生の受け入れを積極的に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議では介護活動の状況等を報告し意見や助言、要望等を出してもらい可能な限りその場で論議している。ご家族代表以外の方にも参加をお願いしている。</p>	<p>2ヶ月毎に開催している。利用者の状況や介護業務・行事・外部評価結果報告・職員研修等の報告を行い、意見交換をしている。ヒヤリハットの開示の要望が出され、避難訓練も兼ねて実施している。出された意見はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>社会資源の活用や生活保護の受給者の処遇等の相談や対応を行い、運営推進会議等で長寿あんしんセンターともつながりを持ち、相談できるような関係づくりに取り組んでいる。</p>	<p>市担当者とは窓口に出向き報告や連絡・相談等をしている。保護課とも連携をとっている。運営推進会議では地域包括支援センター職員の参加があり助言を貰っている。介護相談員の受け入れもしている。自治体の研修会には積極的に参加して、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会設置し定期的に開催している。身体拘束に抵触しそうな行為がないか確認している。</p>	<p>マニュアルを作成し身体拘束廃止委員会を2ヶ月に1回開催している。年2回の研修も実施して、日常ケアの中で拘束の対象になるような行為の事例を挙げて研修し、拘束のないケアを実践している。玄関の施錠はしていない。職員間で見守り、声かけしでケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に身体拘束や虐待についての研修を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	内部研修で権利擁護について学ぶ機会を設けている。現在、成年後見人制度を利用されている方はいない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、時間をかけて丁寧に説明を行っている、重要事項説明書や契約書に基づき、ホームの介護に関する考え方や活動、入退居の条件も含めた事業所としての対応可能な範囲や医療連携体制、看取りの指針などを詳しく説明し、理解、納得、同意を得た上で契約している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議や家族会を開催し意見や要望をお聞きし、意見や苦情は管理者が責任を持って対応している。また、外部の相談窓口については契約時に説明し、重要事項説明書での掲示を行っている。	利用者からは、洗濯物たたみや食器洗いの時に話しかけ思いを把握している。家族からは家族会や面会時・運営推進会議時に聞いている。介護相談員からも面談結果を参考に対応している。食事内容の検討や外泊の為の手引き歩行を家族から相談されて歩行訓練に取り組み、外泊できた利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の職員会議やそれぞれのユニットのカンファレンスの時に職員の意見、要望等話し合う機会を設けている。また、日々のコミュニケーションも大切にし職員同士が話し易い職場環境作り、関係作りに努めている。	職員会議やカンファレンスの時に意見を聞いている。管理者は日頃から職員間のコミュニケーションを大切にしている。ケアプランの作成や備品購入等、意見が活発に出されており、それらの意見を活かして利用者の状況に応じたケアの統一を図って運営に反映している。個人の相談は管理者が対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	法人役員と法人内の2つのグループホーム・4つの小規模多機能型ホームの管理者で運営会議月に1回開催している。それを通して代表者も、職場や職員の状況を把握し職場環境や条件の整備を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	行政主催の研修会や、グループホーム連絡協議会の研修や社会福祉協議会主催の研修会に参加できるようにしている。参加しやすいように勤務体制の調整を行っている。年間学習計画に基づいて内部研修も行っている。また、資格取得も奨励している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加入し研修会に参加している。医療生協主催の介護交流会や研修に参加し情報交換や交流を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用相談があった時は施設見学、面談などを行っている。電話での空室確認や入居に関する相談にも対応している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始前にご家族と面談を行っている。要望や悩みを聞くことで生活状況を把握しグループホームとしてどのような対応ができるか検討している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用相談時に本人様やご家族の状況を把握し、利用開始までの一連の流れを説明している。空室がない場合や、相談内容がグループホームの役割と異なる場合は他の事業所のサービス利用の説明等を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物を干したり、たたんだり、お盆拭き、庭掃除などを、楽しく自信を持って生活できるようにひとりひとりに役割を持っていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時は本人様とご家族がゆっくりと過ごして頂けるように配慮している。面会時は記録を開示し近況報告を行っている。毎月発行しているお便りで、生活の様子をお伝えしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの方々のお手紙のやりとりを支援している。お墓参りや思い出の場所への外出を行っている。</p>	<p>入居の時、馴染みの友人関係を把握している。他県からの面会や知人が面会に来ることもある。便りや年賀状の取次ぎも行っている。墓参りは家族が同行、美容師の訪問や行きつけに家族が付き添っている。馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>口論等のトラブルに発展しないように、洗濯物をたたんだりしている時は役割分担ができるよう配慮している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービスの利用が終了された方や他の事業所に移られた方でもお電話での相談に応じるなど、関係が途切れないよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的な聴き取りによる要望の把握に努めている。把握が困難な入居者様の場合はご家族からの情報を得て職員間の話し合いの中で介護に反映させている。	家族から面会の時に情報を得たり、本人との日常の会話の中からくみ取っている。困難な場合は、家族と話し合い、本人の表情等から推測して職員間で話し合い対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始前は本人様やご家族との面談で把握するようにしている。できるだけ本人様が生活されていた場所へ出向いて生活されていた環境を見るようにしている。入居後は、日常の会話やご家族の面会時にお話を伺い把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の生活リズムを把握できるように職員全員で取り組み、日々の言動・行動や表情からの気づきを大切にしている。入居者様のできることを見出し、状態の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族には普段の生活の中での意志や思いを傾聴し介護計画に反映させている。計画作成者だけでなく職員がアセスメントを実施し本人様の生活に対する意向を伺いカンファレンスですらに検討し介護計画を作成している。	本人や家族の要望を聞き主治医の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月毎に、見直しも6ヶ月毎に実施している。状況に変化があった時は、その都度見直し現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに基づき日常の様子観察を行いながら水分量・食事・排泄など中心に把握し行動・言動にも着目しながら記録を残し情報を共有し周知している。その中で介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	諸手続きの代行や、ご家族が同行できない時の受診の付添い等を行っている。季節に合わせた外出や、個別の外出も支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に町内区長、民生委員、長寿あんしんセンター職員にも参加してもらい地域の行事の情報や助言をもらっている。また、防犯や防災、入居者の離脱などでは交番や消防署の協力をもらい支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時や、利用者の心身の状態に変化があった時はかかりつけ医に相談しご家族や入居者の意思を尊重して決定している。協力医療機関にかかりつけ医の変更を希望される場合には、前主治医からの情報提供や同意を得て、変更を行っている。また、利用者の健康状態をかかりつけ医と事業所が連絡・相談できる関係作りを行っている。	かかりつけ医は本人・家族の希望する主治医になっており、協力医療機関が主治医である。協力医療機関以外の場合は、連絡票を家族に渡して事業所が連絡・相談できる関係づくりを行っている。往診クリニックが4週に1回訪問診療がある。訪問看護ステーションは2週に1回訪問している。ホームの看護師も在任しており、24時間医療連携が整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職員は生活の中で気付いた変化を訪問看護師やホーム看護師に伝え相談している。入居者様それぞれが適切な受診や看護を受けられるように支援している。ホーム看護師は担当者会議に参加している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、主治医・看護職員・ご家族との連携を密に取り対応している。管理者や職員が面会に行き入院中も利用者が安心感を持ち早期に退院ができるように支援している。退院前はカンファレンスに参加し退院後も安心して生活できるようにケアについての助言を頂いている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合の指針を作成しており契約時に説明を行っている。また、重度化した場合はご家族や本人様の意志を尊重し協力医療機関や契約している法門看護ステーションとの連携を取りながら事業所として対応し得る最大限の介護を行えるようにしている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり、契約時に本人・家族に説明している。重度化して状況に変化があった時は、主治医より家族に説明をして家族の意向を確認して同意書を貰っている。協力医療機関や訪問看護ステーションと連携しながら、事業所でできる最大の支援を共有して対応している。希望があれば看取りも視野に入れている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に内部研修で緊急時の対応方や蘇生法の研修を行っている。消防署が主催している救命講習にも参加している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回、消防署の協力を得て、避難経路の確認・避難誘導の方法・消火器の取扱い・通報訓練等を実施している。地域の協力体制については運営推進会議で町内区長や民生委員さんに協力をお願いし防災訓練前に地域の方々に参加を呼び掛けている。</p>	<p>避難訓練は年2回消防署立ち合いで、運営推進会議と同日に、夜間1回、昼間1回実施している。町内会の役員や民生委員の参加がある。マニュアルを作成している。避難経路・避難誘導・消火器の取り扱い等を消防署の指導を受けている。スプリンクラー・自動火災報知器など、防災設備は業者が定期的に点検している。備蓄はカセットコンロ・レトルト食品・おかゆ・ごはん・味噌汁・カップ麺・水・米も多めに用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	オムツ交換やトイレ誘導時は他者に見られないように配慮し目に触れないように汚物を処理している。においがこもらないように配慮している。個人情報の取扱いについては内部研修等で個人情報保護について学び個人情報保護の徹底に努めている。	マニュアルを作成し、定期的に研修を実施している。排泄介助時の消臭への配慮やさりげない衣類の処理・トイレ誘導はさりげなく・尿取パットの始末の仕方・居室のドアのノック等、羞恥心に配慮したり、誇りやプライバシーを尊重した対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活場面において今どこで過ごしたいのか意思確認をしてから誘導している。お誕生日にはリクエストされたメニューにしたり外出を企画する際はどこに行きたいかなどを伺い入居者の希望を大切に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の日課はあるがあくまでも全体的な目安としひとりひとりのペースや希望、その日の体調や気分などによって食事時間や入浴など可能な限り柔軟に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ひとりひとりの生活習慣や好みで自己表現ができるように支援している。お化粧品をしたり、不問理美容の際はできるだけ本人様から希望を聞きながらカットやヘアカラー、パーマなどをしてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	旬の食材の皮むきなどや下膳、食器洗いやお盆ふきなどして頂いている。献立を作る際は、食べたい物がないか伺っている。	入居時に利用者の嗜好を把握し献立作成をしている。摂取状況等の観察をしている。ミキサー食・きざみ食にも対応している。行事食や誕生日には好きな物・節句のお寿司・ぜんざい・冬至のかぼちゃ・金柑づくり等、季節毎の楽しみも取り入れている。食器洗いや野菜の皮剥き・下膳等、一緒に行っている。外食などに出かけている。	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	協力医療機関の管理栄養士の指導を受けバランスの取れた献立を作成し提供している。水分や食事の摂取量のチェック表を元にひとりひとりの摂取量を全職員が把握できるようにしている。水分摂取量の少ない入居者の方には個別に好きな飲み物を準備し提供している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	口腔ケアの声かけや介助を行い口腔内の保清に努めている。歯磨きやうがいが困難な入居者の方には口腔ケア用のウェットティッシュで口腔内を清拭している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様の排泄パターンを表情や行動の変化から把握し、トイレ誘導を行いできるだけ自然排泄できるように促している。	介護記録から排泄パターンを把握し、オムツの利用者も日中はできるだけトイレでの排泄ができるよう支援している。夜間は、負担を掛けないよう身体状況等に応じてポータブルトイレを使用する利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材を取り入れたり水分をきちんととって頂いている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調やその日の順番、気温などに配慮し臨機応変に対応することで入浴しやすい環境作りに努めている。	基本的に、週2回の入浴を午前中に体調や気分配慮しながら実施している。足にむくみのある利用者には、風呂のない日は足浴をして温めている。無理のないように柔軟な支援をしている。年末にはみかんの皮を入れて香りを楽しんだり、個々に応じた入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	足浴をしたり、休むまえはパジャマに着替えていただくことで気持ちよく眠れるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が内服薬の内容を把握できるように専用のファイルを作成し薬の説明書を整理している。与薬時は必ず職員2名で名前の確認を行い直接手渡し、本人の前で名前と日付を確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご家族の協力を頂きながらひとりひとりの役割を持ち、楽しみが持てるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族の協力を得ながら外泊や外出ができるよう支援している。気候や入居者様の希望を考慮しながらホームでの行事や外出を企画している。	庭で花見やお茶をしたり、年間目標で外出の機会を増やす計画を立てて、花見や動物公園・物産館等に出かけている。大型スーパーマーケットでの外出に出かけている。利用者の希望で個別に買い物やドライブ等に出かけたりしている。家族と墓参りや自宅訪問等で外出・外泊する利用者もあり、できるだけ出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理はご家族にお願いしており必要時にはご家族の承諾をいただいて物品等購入している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご希望があれば手紙やおはがきを送れるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間の徹底した清掃を行い過ごしやすい環境作りを行っている。</p>	<p>リビングは陽当たりが良く、日光をカーテンで調節している。壁には季節感のある飾りや利用者の習字が掛けられている。温度・湿度等が適度に調節されており、利用者がソファ等の好みの場所で居心地良く過ごせるように配慮されている。台所から調理の音や匂いがして家庭的である。入居者の席も気配りしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>好きな飲み物等を準備しゆっくりと過ごして頂けるよう配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族の協力を頂きながら本人様の使い慣れた家具等を用意していただいたり、身体の状態にあわせた配置を行って居心地よく過ごせるよう配慮している。</p>	<p>居室に電動ベッド・洗面台・クローゼット・エアコンが設置してある。使い慣れたテレビ・タンス・時計・仏壇等が置かれ、写真を飾ったり楽しい部屋づくりをしている。掃除もきれいにしており、居心地よく過ごせるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者様がわかりやすく使いやすいような表示をして安全に自立した生活が送れるように工夫している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない